

# 9月 そらぐみだより



夏の暑さが少しずつ和らぎ、秋の訪れを感じる季節となりました。今年は、雨が多い9月となりましたが、園庭や室内で伸び伸びと体を動かして遊んできました。戸外で思い切り走ったり、いろいろな遊びに挑戦したりする中で、体を動かすことの楽しさを味わってきた子どもたち。これまでの遊びの積み重ねを大切に、運動会へつなげていきたいと思えます。

## チャレンジタイム

『チャレンジタイム』として、5月から、鉄棒や一本歯下駄、フラフープ、ペダルローラー、縄跳び、竹馬など、いろいろな遊びに挑戦してきました。継続して遊んでいくうちに、友達の姿を見て、自分もできるようになりたいと挑戦したり、ここまで（何回）できるように頑張ろうと自分なりの目標をもって遊ぶようになってきました。友達同士で「一本歯下駄は、指に力を入れるんだよ」「フラフープは、腰を前と後ろに早く動かすねん」などとコツを教え合ったり、支え合ったりする中で、一人で頑張るだけではなく、友達と一緒に取り組む楽しさも感じられるようになってきました。

できるようになることも目標の一つですが、意欲をもって挑戦したり、自分なりの目標に向かって繰り返し取り組んだりする姿勢をたくさん認め、自信につなげていきたいと考えています。



一緒に向こうまで行こう！

みんなでやってみよう！



## 元気に体を動かして遊んでいるよ！

### ☆パラバルーン

遊戯室に置いていたパラバルーンを見て、「これ去年大きい組さんがやってたな」「みんなでやってみたい」と目を輝かせていました。「風船やってみよう」「バルーンの中にボール入れたい」「次は中に入りたい」など、去年の5歳児の姿を見ていたからこそ、子どもたちはイメージを広げ、いろいろな動きに挑戦しました。遊戯室の天井に届くくらい大きくパラバルーンがふくらむと、子どもたちは大喜び。「わー！天井までふくらんだ」「やったー！もう一回やりたい」など、意欲的な声がたくさん聞かれました。パラバルーンをふくらませて中に入る『山』という技に挑戦したときには、「空気が抜けたらふくらまないから空気が入らんようにしないと」と、友達に声を掛け合う姿がありました。自分たちで声を出してカウントを取る姿や、タイミングを合わせられるように友達の姿をよく見て動く姿もあり、遊びの中で、友達と協力したり、気持ちを一つにしたりする心地よさや楽しさを味わっています。「頑張ったからちょっと手痛いわ」「途中で足引っかけりそうになったけど、大丈夫だったよ」という言葉からも成長を感じる毎日です。



ポップコーン ポンポン！



風船ふくらんだ！



### ☆リレー

リレーは、初めは、走ること自体を楽しんでいましたが、だんだんと、友達と一緒に走ったり、チームとして走ることを楽しむようになってきました。繰り返し遊んでいく中で、「頑張れー！」と友達の姿を応援したり、バトンをパスするときに、「〇〇くん！」と友達の名前を呼んだりする姿が見られるようになりました。また、クラス対抗で遊ぶ中で、「勝ちたい」「負けたくない」という気持ちが少しずつ芽生えてきました。2回戦ともつき組に負けてしまった日の振り返りでは、勝つためにどうしたらよいかをみんなで話し合い、作戦を立てました。その中で、「一生懸命腕を振って走る」「線のギリギリを走る」など、いろいろな意見が出てきました。「つき組にはこれ内緒な」「次は勝ちたいな」と次への期待を高めていました。

運動会では、意欲的に体を動かす姿、友達と協力し合って力いっぱい頑張る姿、最後までやり遂げる姿など、子どもたちの成長を感じられることを楽しみにしています。